



平成 25 年7月5日 第 3 卷(第6号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害支援チーム TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

*** 目 次

1. 現地活動報告
2. 現地より
3. 災害支援チームからのお知らせ
4. 事務所感想文

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン I」

「東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン II」

好評発行中です。

皆さま、ぜひご購入のうえ

ご覧ください！！



詳細は、

“3. 災害支援チームからのお知らせ”を
ご参照ください。

*** 1. 現地活動報告 ***

活動期間:2013年 5月23日~5月25日
武部 経介 (大阪府 済生会中津病院)

今回初めて参加させて頂きました。現地の環境を見ると、整備が進んでいる地区はいくつか見受けられましたが、更地や未修繕の建物も多く、地域の差もあることも伺い、今後の支援の必要性を感じました。ケースにおいては、復興が進む中で援助施策が終了することに不安を感じている方もおり、今後どのような社会資源を提案、活用してもらいべきなのかと、ソーシャルワーカーの役割の重要性を感じました。現地の方の支援に役立てたという実感も持てないままに活動を終えることが残念ですが、また参加させて頂きたいと願うばかりです。

活動期間:2013年 6月20日~6月21日
渡部 美穂子 (山形県 舟山病院)

8ヶ月ぶりの活動になります。両日、自宅訪問がメインでした。21日は一人で訪問に出掛けました。不安もありましたが、協会のスタッフで活動していることを告げると、みなさんの反応は良好でした。「前は男の人だったよ」「あなたはどこからきたの？前の人には東京から来たんだって」など、前回の訪問者のことも覚えていてくれました。協会のメンバーには会ったことも話したこともないのに、ケースを通じて繋がっているんだなあ、と実感しました。この繋がりを断ち切らないよう、また機会を作って参加します。

活動には関係ありませんが、山形県協会では「石巻復興支援ツアー」と称し、6月30日に日帰りバスツアーを企画しています。「せっかく石巻に行くんだから、現地スタッフにご挨拶しよう！！」ということで、少しお邪魔させていただく予定です。(久保木さん、畑中さんに了解いただきました。ありがとうございます。)

参加を検討している方へのメッセージ:おいしい魚たちが待っています。お酒好きな方には「日高見」をおすすめします。私は、食べて飲むことも支援だと思っています。

活動期間:2013年 6月22日~6月24日
中辻 康博(東京都 豊島区医師会)

約3か月ぶりの石巻訪問。現在、基本的に土日は協力員を募集していないとのことで、現地担当者もお休みの中、「ケースフォローと仮設まわり」と活動させていただきました。

ケースフォローでは、土日に対応する方が望ましい家庭を中心に、これまでつないできた“支援のバトン”を感じながら訪問。抵抗少なく受け入れていただき、「就職」「受診」に繋がるなど少しずつ状況の変化を確認することができました。

また仮設住宅への SW 案内の掲示では、1 年半前頃に協力員としてまわった牡鹿半島を中心に行いました。これから仮設住宅との関わり方をどう築いていくのか、時間の経過の中で様々な生活問題、不安も変化していると思います。また以前に比べて掲示板に貼ってあるイベント案内などの少ない印象を受け、仮設生活の現状をもっと知らなければいけないとも感じました。

協力員活動の定期参加を行い、現地担当を務めた自分だからこそできる関わりができればと考えています。

活動期間:2013年 6月 27日~6月 29日
本屋敷 恵 (大阪府 済生会野江病院)

昨年の 9 月から 2 度目の参加をさせて頂きました。瓦礫の山はほとんど姿を消し、新しい家もちらほら見受けられました。市立病院の取り壊しも始まっていました。その一方で、アルコールやひきこもりのケースの増加。やっと被災時の話ができるようになってきている。また、PTSD や自殺など、物の復興が進んでも人々のところに大きな爪痕が残っているのを新ためて感じました。短い期間で十分に活動できたとは言えませんが、ここへ来る度に勉強させて頂けます。3 日間ありがとうございました。

*** 2. 現地より ***

*** 6/21 久保木 美由紀 (現地担当)

仮設自治連合会定例会(18時30分~20時):
「認知症サポーター」養成講座参加。

*** 6/24 久保木 美由紀 (現地担当)

牡鹿半島にて協会ポスターの展示をしました。
ポスターを通して支援活動を知っていただく事が出来ればと思います。

*** 6/25 久保木 美由紀 (現地担当)

RCIとの勉強会に参加致しました。
「信頼を築き、相手をもっと知りましょう」をテーマに講義。
13名の方が参加して下さり次回も参加したいとの声も頂きました。

*** 6/26 久保木 美由紀 (現地担当)

NPO 法人東日本大震災圏域創生センターにて、週末の巻きずしイベントの最終打ち合わせを行いました。楽しい企画で多くの方に喜んで頂けるよう計画しています。

*** 6/29 10時～12時30分
「飾り寿司、巻きずしを作ろう！」のイベント企画、参加 久保木 美由紀（現地担当）

主催：東日本大震災圏域創生 NPO センター
共催：日本医療社会福祉協会 災害支援チーム

これは今年度から始まったサポートチームがネットワーク形成の中で見つけられた創生さんと協会との懇談の中で生まれた企画でした。

目的としては、まず来て下さった皆さんに楽しんでいただくこと。

震災により「生きる」ことを意識するようになり、今回は食の面で子供たちに考えてもらうこと。大人にとっても食べることはもちろん作ることも生活の中の一部です。食事をつくる事により、自分の毎日を取り戻していく、回復していく作業であることを少しでも感じてもらうことです。（創生 NPO センター事務局長太田さんより）

創生の事務局長である太田さんと情報交換させて頂いている中で子供たちが料理をしたいという要望があり、私たちが支援させて頂いている方の中に料理が得意な方がいたことで、その方に先生になってもらい料理教室を開こうとなりました。何をつくるか？は、講師の方が飾り寿司が得意とのことで、飾り寿司、巻きずしをつくることになりました。

当日は事情により講師の先生がお休みというハプニングがおきましたがみんなの笑顔が多く見られました。同じ作り方なのに色んな表情の飾りずし、巻きずしができ、和気あいあいとお寿司を頂きました。アンケート結果からは、大変楽しかったとの声が全員から寄せられ次回もやってみたいとのことでした。次回は何を作ろうか楽しみです。こうして幅広い世代の方が集まり、楽しむ中で様々なことを感じ取ってくれたらと思います。



巻き寿司を作ろう！イベント中の様子です。

*** 7/3 西田知佳子（現地協力員）

石巻ひきこもりグループのこと

石巻で引きこもりの親のグループを始めて2カ月が過ぎた。月2回、第2と第4の水曜日の午後に計画しているがグループと言えるほど人は集まらない。しかし久保木さんが市報に記事を書いているのでその記事を見た不登校の小学生を持つ母からの電話相談や高校生

の親の相談が事務所に寄せられている。先日は県の保健所からどういうことをしているのか教えてほしいと連絡があり県の保健所まで久保木さんと出向いた。県の保健所は児童相談所と一緒の建物である。渡部さんという男性の保健師さんと母子障害班班長の林さんに、グループを行うようになったいきさつとグループの意味、現在の状況をお話した。県の保健所でも引きこもりについて掌握しつつあるそうで、渡部さんは市報を見てその活動に目を留め連絡をしたと話される。市報の久保木さんの記事を四角く囲んであった。林さんから「石巻市民でなくてもいいのですか？」と質問が出る。市の事業なので本来は石巻市民が対象なのだけど遠くからでも是非参加したいと仰って下さる方がいらしたらどうぞと私たちの返事。

現在石巻の引きこもりの家族のグループはポツリポツリの参加で、グループと言うより個別相談の様であるが、思い返してみたら聖路加で家族のグループを始めた時も最初は開店休業だった。それが次第に増えていき1年後には家族グループと銘打てるようになった。思うように人が集まらなくともあせらず、同じ時間に同じ場所でグループをする、ということが大切なのだとグループの原点に戻り気持ちを新たにしました。

*** 3. 災害支援チームからのお知らせ ***

【1. 2013 年度の災害支援組織名称決定】

2013 年度の石巻市への災害支援活動を担う組織名称が「災害支援チーム」に決まりました。

【2. 協力員募集】

*** 現 地

現在、1日あたり上限 2~3名で募集しております。
中3日以上、なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害支援チームまでお気軽にご相談ください。

但し、初回参加の方は活動日数を3日以上でご参加お願い致します。

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。
ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

*** 事務所

引き続き募集しております。
平日のみの活動ですが1~2ヶ月に1回でも構いません。
ご協力をお願い致します。

【3.災害支援チーム会議開催予定のお知らせ】

次回予定 7月20日(土) 13:00~15:00 於協会会議室

【4.書籍販売】

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンⅠ』と

『東日本大震災 医療 ソーシャルワーカーの支援のバトンⅡ』の

販売を行っています！

発災から2011年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録を『バトンⅠ』に、2011年10月から2012年12月までの災害対策本部、石巻市での仮設住宅支援・在宅被災世帯支援・市民活動支援、現地SWとの協働の記録を『バトンⅡ』にまとめました。

ぜひご覧になってください。

尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。

(注文用紙はホームページからダウンロードできます)

バトンⅠ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

バトンⅡ:URL: http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=47

【5.facebook】



facebookでも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

*** URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【6.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



*** URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

*** 4. 事務所感想文 ***

*** 7/1 金子 小夜子（災害支援チーム事務所）

災害支援ニュース第3巻(第6号)から発行担当が群馬県協会から徳島県協会に引き継がれました。多くの方々にご協力を頂いて災害支援ニュースをホームページに掲載できるのだと改めて実感しております。

<編集後記>

梅雨から初夏へ暑さも日増しに夏らしくなる今日この頃です。この度災害支援ニュースの発行に携わる事になりました。私自身も石巻へは一度お伺いお手伝いをさせて頂きました。一度だけではなく何か出来る事は？と自問自答の中からこの活動にたどり着いたような気持ちです。支援のバトンを上手く受け取れたかどうか分かりません。また、上手く次に繋げられるかと言う不安もありますが、お手伝いすると決めた以上出来る限りの事をしていきたいと考えております。みなさんのご意見を頂きながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(編集担当 鴨島病院 医療ソーシャルワーカー一同)

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 25 年 7 月 5 日 第 3 巻 6 号
作 成 徳島県医療ソーシャルワーカー協会